

東京八王子ビーントレイন্ズ チーム創設10周年

東京八王子ビーントレイন্ズはチーム創設から10周年。私たちが新オーナーになり、チーム再建に入ってから、今年で5年目に突入します。ワールドカップのおかげもあり、昨シーズンもとても盛り上がったBリーグは、B革新を掲げ大きく変貌します。今シーズンのB3リーグや、この4年間の経営について、そして東京八王子ビーントレイন্ズの意気込みをお話いたします。



B リーグは2026年からカテゴリ
や仕組みが変わります*。これまで

下位リーグで優勝・準優勝のチームが、上位のカテゴリに上がる仕組みでした。そのため過剰な投資により、赤字経営のチームも増えてしまいました。今後のバス界の発展を考え、経営能力によってカテゴリを分けることになったのです。東京八王子ビーントレイন্ズは、日本のバスケットボールの裾野を広げることをテーマに掲げているB・LEAGUE ONEを目指します。参入には売上4億円、平均観客数2400人、債務超過ゼロという条件があります。暫定措置として今シーズンは平均観客数1500人となっています。

東京八王子ビーントレイন্ズは、私たちが再建に入る前は2年連続で年間1億円の赤字を出していましたが、この4年間は黒字のチームに変貌しました。これはひとえにアリーナに足を運んでくださったファンの皆様、コロナ禍でも引き続き応援してくださったスポンサー企業様、ボランティアで運営に入ってくれた皆様のおかげです。そ

して、チーム優先で働いてくれたスタッフ、他チームよりも多くのファンサービスに応じてくれた選手にも心から感謝しています。いよいよ2億8千万円あった債務超過の解消にも動いております。

チームは人間学を学ぶ月刊誌『致知』
を使った感想共有の会「木鶏会」

で、選手とコーチ、スタッフが本音で話しています。コンゴ出身のステイブ選手は7年間、国に帰っていません。高校では全国制覇2回、大学でも活躍しプロ選手になりました。心が折れそうになったとき、母親も電話で応援してくれていました。アメリカ出身のギル選手は、この2年で身内を二人亡くし、本人も怪我で悩まされ辛い日々を送っていましたが、周りの励ましもあり、今年は気合が入っています。移籍してきた日本人選手も、人としての成長を感じながら木鶏会に参加しています。

シーズンが始まるにあたり、選手たちには次のような話をしました。「感動のワンプレーを期待している。得点

やりバウンドなどスタッツに残るプレーもあれば、手を抜かないディフェンス、リバウンドをチップするなど、チームを助ける献身的なプレーをブースターさんは見ている。そこに感動してアリーナに来てくれる。そして、シーズン前に良いチームと

言われていても、負けが続くと良いチームとは言われなくなる。逆にシーズンが進むにつれ、良いチームと言われるチームが出てくるのはなぜか。チームというのは一人の選手、一人の人間が集まって構成されている。各々の選手が隣にいる選手のため、HCのため、観客のために力を出すことがチームの勝利に繋がり、良いチームがつけられる。最初から良いチームが用意されているわけではない。良いチームは誰がつくるのか、それは君たち選手がつくるのだ」
自分が良いチームをつくるという当事者意識が芽生え、選手たちの目が輝いていました。選手たちは一丸となってプレーオフ進出を目指します。ぜひ、皆さんも会場に足を運んでいただき、一緒に東京八王子ビーントレイন্ズの歴史をつくりましょう！

*B1、B2、B3から、B.LEAGUE PREMIER、B.LEAGUE ONE、B.LEAGUE NEXTへ(詳しくはB.LEAGUEのWEBサイトをご覧ください)

(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲
MURODATE Isao

2003年株式会社キャリアコンサルティングを設立。ブータン王国立マネジメント大学など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパン講師・審査員。著書に「夢を見て 夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせなさい」(講談社)、「応援される人」になりなさい」(ワック)がある。